

7. 精神疾患病態研究部

I. 研究部の概要

精神疾患病態研究部では、精神疾患の克服とその障害の支援のための先駆的研究活動を展開している。精神疾患の生物学的な研究と精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動をより発展させて全国レベルで展開することを目標としている。精神疾患の生物学的な研究は、認知社会機能、脳神経画像、神経生理機能などの中間表現型及びゲノムなどの生体試料を用いて、統合失調症、気分障害、発達障害などの幅広い精神疾患について疾患横断的に検討することにより、病態を解明し、新たな診断法・治療法の開発を行っている。この研究は、当研究部においてのみ行うものではなく、国立精神・神経医療研究センターの他の研究部門および日本全国 39 の精神疾患関連研究機関の共同研究体制である COCORO (Cognitive Genetics Collaborative Research Organization: 認知ゲノム共同研究機構) を運営しオールジャパン体制で遂行している。精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動は、EGUIDE プロジェクト (Effectiveness of GUIDeline for Dissemination and Education in psychiatric treatment: 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究) という全国 44 大学を含む 215 医療機関の共同研究組織を牽引し、全国でガイドラインの講習を行い、その効果検証を行っている。

令和 2 年度の人員構成は次のとおりである。部長: 橋本亮太, 室長: 三浦健一郎, 松本純弥, リサーチフェロー: 長谷川尚美, 科研費心理療法士: 野沢衣那, 佐藤千嘉子, 田村友里江, 科研費研究補助員: 木村哲也, 草野絢子, 山縣眞美子, 細谷多栄子, 島田園子, 松本愛奈, 高村晶子, 研究助手: 山口綾子, 大重満津子, 併任研究員: 久保田智香, 三浦拓人, 佐藤英樹, 宮川 希, 柏木宏子, 竹田康二, 高野晴成, 外来研究員 7 名, 客員研究員 55 名, 研究生 15 名。

II. 研究活動

A. 精神疾患の病態解明と診断法・治療法の開発研究

1) 精神疾患の脳神経画像研究 (松本, 三浦, 橋本)

統合失調症を中心に三次元脳構造画像解析, 拡散テンソル画像解析, 安静時機能的 MRI 解析などを行い, 今年度は 11 編の論文成果があった。そのうち, 国際的な脳神経画像の巨大コンソーシアムである ENIGMA との共同研究は 5 編であった。COCORO の多施設共同研究にて統合失調症, 双極性障害, うつ病, 自閉スペクトラム症, 健常者合わせて 2937 例の拡散テンソル画像のメガアナリシスを行い, 統合失調症と双極性障害の共通の脳白質の微小構造異常を見出した (橋本, Koshiyama et al, Mol Psychiatry, 2020)。統合失調症の認知機能障害の脳構造特徴として大脳皮質厚の菲薄化などがあることを明らかにし, 認知機能が保たれている統合失調症では側坐核と前頭葉の機能的結合性が強いことから, 報酬系である中脳皮質辺縁経路が認知機能保持に働く可能性が示唆された。本研究は Psychiatry Clinical Neurosciences 誌に掲載され, 2020 年度のフォリア賞を受賞した。

2) 精神疾患の眼球運動研究 (三浦, 松本, 橋本)

統合失調症を中心にフリービューイング課題, 滑動性追跡眼球運動課題, 注視課題などから得られた眼球運動の特徴および眼球運動異常を示す眼球運動スコアの解析や, その神経基盤を明らかにするための基礎研究などを行い, 総説を含める今年度は 6 編の論文成果があった。統合失調症の患者における前に見た場所を再び見ることを避ける復帰抑制と呼ばれる視覚的注意の機能を検討した。その結果, 統合失調症では復帰抑制機能の低下が認められ, それは視覚的注意の障害とそれに伴う認知機能低下を検出する有用な手がかりになると考えられた。

3) 認知社会機能プロジェクト（橋本，松本，三浦，伊藤）

広く診療で使えるような統合失調症の認知機能障害の簡便な測定法を開発し，2000 例程度のデータを COCORO にて集積して解析し，普及のため各地で講習会などを行っている．認知機能障害は，簡略版 WAIS で測定する推定知能と Japanese Adult Reading Test (JART) で測定する推定病前知能の差にて算出したものである．社会機能については，社会活動評価 (Social activity assessment: SAA) にて，労働時間を賃金労働時間，家庭での労働 (家事・育児・介護)，学業 (学生の場合) の 3 つの側面の合計にて測定している．健常者において労働時間と拡散テンソル画像による大脳白質の微細構造との関連を検討し，労働時間が短いほうが大脳白質の微細構造の乱れが強いことを見出した．よって，大脳白質の微細構造の乱れは労働能力の指標となる可能性が示唆された (松本，橋本，三浦，et al, Neuroscience letters, 2021)．

4) 精神疾患の分子メカニズム研究（橋本，松本）

統合失調症をはじめとする精神疾患についての血中バイオマーカーに関する研究を行い 3 編の研究成果が得られた．シナプス可塑性を調節する Matrix metalloproteinase-9 (MMP 9) の血漿中濃度を測定すると，健常者と比較して統合失調症では優位に高かった．また，この MMP9 の血中濃度は認知機能と有意に負の相関があることから，MMP-9 レベルの増加が統合失調症の認知機能障害に関連する可能性が示唆された (橋本，Kudo, Neuropsychopharmacology Reports, 2020)．

5) 司法精神医学領域の生物学的研究（柏木，竹田，三浦，松本，橋本）

暴力の既往のある統合失調症群，暴力の既往のない統合失調症群，健常者データ 1600 例以上を COCORO データベースから抽出し，認知機能，精神病理，社会機能，QOL 等について解析し，暴力群における認知・精神病理・社会機能・QOL 特徴を見出し，論文投稿中である．犯罪被害者となったてんかん患者の判決文データベース調査を行い，論文投稿中である．

6) 精神疾患の遺伝子解析研究（橋本，三浦，松本）

精神疾患の遺伝子解析研究は，一施設で行うことは現実的ではなく，数十～数百の研究チームの共同研究で数千～数万のデータを集積して研究を行うことが主流となってきた．統合失調症の遺伝子解析研究や，気分安定薬であるリチウムの反応性や治療抵抗性統合失調症に唯一適応のあるクロザピンの重篤な副作用である無顆粒球症などの薬理遺伝学的研究，いわゆる画像遺伝学 (imaging genetics) などの共同研究の成果が 8 編得られた．

B. 精神科医療の普及・均てん化に関する研究

1) 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動：EGUIDE プロジェクト（長谷川，久保田，三浦健一郎，松本，三浦拓人，佐藤，柏木，橋本）

EGUIDE プロジェクトは，精神科医に対してガイドラインの教育の講習を行い，ガイドラインの効果を検証する社会実証研究である．対象とするガイドラインは，統合失調症薬物治療ガイドラインとうつ病治療ガイドラインであり，日本神経精神薬理学会，日本うつ病学会，日本臨床精神神経薬理学会のバックアップを受けて行っている．2016 年に開始した EGUIDE プロジェクトは，本年度 44 大学 215 医療機関が参加する巨大なプロジェクトになり，毎年 20 回以上の講習会を全国で行い，延べ 2000 名以上の精神科医が講習を受講した．EGUIDE プロジェクトにおける検証活動は，講習受講直後のガイドラインの理解度の向上，その後のガイドラインを遵守した治療行動調査における実践度の向上，処方行動を診療の質 (Quality Indicator: QI) という形で測定し，例えば統合失調症患者の退院時の抗精神病薬単剤治療率というような QI を設定し，経時的に測定することにより，講習の効果の有無についての検討を行い，多数の学会発表を行った．昨年度，たった一日の講習を受けることにより統合失調症とうつ病の両方の

ガイドラインに対する理解度が顕著に向上することを示し、日本の精神医学領域にて広く認知されるようになった。

本年度は、統合失調症及びうつ病の入院患者の退院時処方についての調査を行って報告した (Ichihashi, 長谷川, 三浦, 松本, 橋本, et al, Neuropsychopharmacology Reports, 2000; Iida, 長谷川, 三浦, 松本, 橋本, et al, Psychiatry Clinical Neurosciences, 2000). 統合失調症において抗精神病薬単剤治療が治療ガイドラインにおいて推奨されているが、参加施設全体の抗精神病薬の単剤処方率は 57%であり、施設ごとのばらつきが大きく、0%~100%に分布した。また、抗うつ薬の併用は 8%, 気分安定薬の併用は 37%, 抗不安薬や睡眠薬の併用は 68%であった。うつ病においても抗うつ薬単剤治療が治療ガイドラインにおいて推奨されているが、参加施設全体の抗うつ薬の単剤処方率は 60%であり、施設ごとのばらつきが大きく、0%~100%に分布した。また、抗不安薬や睡眠薬の併用は 72%であり、薬物療法以外では電気けいれん療法施行率は 14%, 認知行動療法実施率は 1%であった。このように、ガイドラインにて推奨されている治療はまだ本邦では普及しておらず、均てん化も不十分であるというエビデンスブランクギャップが明らかになった。今後は、EGUIDE 講習による教育により改善していくことが期待される。

2) 精神科治療ガイドラインの作成・改訂 (橋本)

統合失調症薬物治療ガイドラインを当事者・家族・支援者と共同で改訂をしている。精神科領域では初めての試みであり、他の診療領域においても先進的な取り組みである。うつ病治療ガイドラインの改訂にもかかわっている (橋本)。

Ⅲ. 社会的活動に関する評価

(1) 市民社会に対する一般的な貢献

- ・ 内閣府の科学技術政策にあたる科学技術基本計画の第 6 期科学技術・イノベーション基本計画における活動のひとつである第 5 回国立研究開発法人イノベーション戦略会議の公式ホームページにて、「精神・神経・筋難病の克服を目指した研究開発」の演題にて NCNP の精神部門を代表した研究紹介動画が公開された (橋本)。

(2) 専門教育面における貢献

- ・ 統合失調症やうつ病などのガイドラインの作成を行い、精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動である EGUIDE プロジェクトも全国展開している。EGUIDE プロジェクトにおいては、統合失調症薬物治療ガイドラインとうつ病治療ガイドラインの講習を全国の精神科医を対象に行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証している。令和 2 年度は、統合失調症薬物治療ガイドラインとうつ病治療ガイドラインの講習を全国 9 か所で行い、49 の医療機関、236 名の精神科医が参加した (橋本)。
- ・ 開発した統合失調症の認知機能障害の簡便な測定法についての講習会を統合失調症学会において行い、評価シートを配布し普及活動を行った (橋本)。
- ・ 国立大学法人大阪大学の医学系研究科および連合小児発達学研究科においては、招へい教授として、奈良県立医科大学においては非常勤講師として、精神医学研究の指導や知見の教授を行っている (橋本)。

(3) 精研の研修の主催と協力

(4) 保健医療行政政策に関連する研究・調査、委員会等への貢献

- ・ クロザピンは治療抵抗性統合失調症に効果のある唯一の抗精神病薬であるが、無顆粒球症な

どの重篤な副作用のリスクが高く諸外国より厳しい規制の下でしか処方できないため、日本では諸外国と比較して極端に普及率が低い。この厳しい規制を諸外国並みにするために、精神疾患病態研究部より発信した研究成果に基づいて、日本精神神経学会、日本神経精神薬理学会、日本臨床精神神経薬理学会、日本統合失調症学会の関連4学会合同でクロザピンの検査間隔の延長および血球減少による中止後の再投与に関する要望を厚労省に対して2021年3月20日に行った(橋本)。

- ・ 日本医療機能評価機構のEBM推進事業であるMindsにおけるMinds診療ガイドラインの有効性評価に関する検討会の委員を務め、ガイドライン作成者向け情報としてEGUIDEプロジェクトの内容を「ガイドラインの活用と有効性評価」として作成し、「診療ガイドラインの普及と医療の質向上の評価」について2020年11月20日に提言が公開された(橋本)。

(5) センター内における臨床的活動

- ・ 外来診療において、連携新患、統合失調症外来をそれぞれ週に1回の新患枠の診察及び、再診を週に半日行っている。専門として、統合失調症及び発達障害の診療を行い、病院内外からの紹介を受け、セカンドオピニオン対応も行っている(橋本)。

(6) その他

Ⅳ. 研究業績

A. 刊行物

(1) 原著論文

- 1) Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Morita K, Nemoto K, Usui K, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Kudo N, Azechi H, Watanabe Y, Hashimoto N, Narita H, Kusumi I, Ohi K, Shimada T, Kataoka Y, Yamamoto M, Ozaki N, Okada G, Okamoto Y, Harada K, Matsuo K, Yamasue H, Abe O, Hashimoto R, Takahashi T, Hori T, Nakataki M, Onitsuka T, Holleran L, Jahanshad N, van Erp TGM, Turner J, Donohoe G, Thompson PM, Kasai K, Hashimoto R, COCORO: Differences in fractional anisotropy between the patients with schizophrenia and healthy comparison subjects. *Mol Psychiatry* 25(4):697-698, 2020.
- 2) Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Morita K, Nemoto K, Usui K, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Kudo N, Azechi H, Watanabe Y, Hashimoto N, Narita H, Kusumi I, Ohi K, Shimada T, Kataoka Y, Yamamoto M, Ozaki N, Okada G, Okamoto Y, Harada K, Matsuo K, Yamasue H, Abe O, Hashimoto R, Takahashi T, Hori T, Nakataki M, Onitsuka T, Holleran L, Jahanshad N, van Erp TGM, Turner J, Donohoe G, Thompson PM, Kasai K, Hashimoto R, COCORO: White matter microstructural alterations across four major psychiatric disorders: mega-analysis study in 2937 individuals. *Mol Psychiatry* 25(4):883-895, 2020.
- 3) Biton A, Traut N, Poline JB, Aribisala BS, Bastin ME, Bülow R, Cox SR, Deary IJ, Fukunaga M, Grabe HJ, Hagenaars S, Hashimoto R, Kikuchi M, Muñoz Maniega S, Nauck M, Royle NA, Teumer A, Valdés Hernández M, Völker U, Wardlaw JM, Wittfeld K, Yamamori H; Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative, Bourgeron T, Toro R: Polygenic Architecture of Human Neuroanatomical Diversity. *Cereb Cortex* 30(4):2307-2320, 2020.
- 4) Ohi K, Nishizawa D, Shimada T, Kataoka Y, Hasegawa J, Shioiri T, Kawasaki Y, Hashimoto R, Ikeda K: Polygenetic Risk Scores for Major Psychiatric Disorders Among Schizophrenia Patients, Their First-Degree Relatives, and Healthy Participants. *Int J Neuropsychopharmacol* 23(3):157-164, 2020.
- 5) Writing Committee for the ENIGMA-CNV Working Group, van der Meer D, Sønderby IE, Kaufmann T, Walters GB, Abdellaoui A, Ames D, Amunts K, Andersson M, Armstrong NJ,

- Bernard M, Blackburn NB, Blangero J, Boomsma DI, Brodaty H, Brouwer RM, Bülow R, Cahn W, Calhoun VD, Caspers S, Cavalleri GL, Ching CRK, Cichon S, Ciufolini S, Corvin A, Crespo-Facorro B, Curran JE, Dalvie S, Dazzan P, de Geus EJC, de Zubicaray GI, de Zwarte SMC, Delanty N, den Braber A, Desrivieres S, Di Forti M, Doherty JL, Donohoe G, Ehrlich S, Eising E, Espeseth T, Fisher SE, Fladby T, Frei O, Frouin V, Fukunaga M, Gareau T, Glahn DC, Grabe HJ, Groenewold NA, Gústafsson Ó, Haavik J, Haberg AK, Hashimoto R, (132 名中 53 番目) Hehir-Kwa JY, Hibar DP, Hillegers MHJ, Hoffmann P, Holleran L, Hottenga JJ, Hulshoff Pol HE, Ikeda M, Jacquemont S, Jahanshad N, Jockwitz C, Johansson S, Jönsson EG, Kikuchi M, Knowles EEM, Kwok JB, Le Hellard S, Linden DEJ, Liu J, Lundervold A, Lundervold AJ, Martin NG, Mather KA, Mathias SR, McMahon KL, McRae AF, Medland SE, Moberget T, Moreau C, Morris DW, Mühleisen TW, Murray RM, Nordvik JE, Nyberg L, Olde Loohuis LM, Ophoff RA, Owen MJ, Paus T, Pausova Z, Peralta JM, Pike B, Prieto C, Quinlan EB, Reinbold CS, Reis Marques T, Rucker JJH, Sachdev PS, Sando SB, Schofield PR, Schork AJ, Schumann G, Shin J, Shumskaya E, Silva AI, Sisodiya SM, Steen VM, Stein DJ, Strike LT, Tamnes CK, Teumer A, Thalamuthu A, Tordesillas-Gutiérrez D, Uhlmann A, Úlfarsson MÖ, van 't Ent D, van den Bree MBM, Vassos E, Wen W, Wittfeld K, Wright MJ, Zayats T, Dale AM, Djurovic S, Agartz I, Westlye LT, Stefánsson H, Stefánsson K, Thompson PM, Andreassen OA: Association of Copy Number Variation of the 15q11.2 BP1-BP2 Region With Cortical and Subcortical Morphology and Cognition. *JAMA Psychiatry* 77(4):420-430, 2020.
- 6) Saito T, Ikeda M, Mushiroda T, Iwata N, Clozapine Pharmacogenomics Consortium of Japan (CPC-J): Human leukocyte antigen DRB1*04:05 and clozapine-induced agranulocytosis/granulocytopenia. *Aust N Z J Psychiatry* 54(5):545-546, 2020.
 - 7) Kudo N, Yamamori H, Ishima T, Nemoto K, Yasuda Y, Fujimoto M, Azechi H, Niitsu T, Numata S, Ikeda M, Iyo M, Ohmori T, Fukunaga M, Watanabe Y, Hashimoto K, Hashimoto R: Plasma levels of matrix metalloproteinase-9 (MMP-9) are associated with cognitive performance in patients with schizophrenia. *Neuropsychopharmacol Rep* 40(2):150-156, 2020.
 - 8) Kaneko S, Kato T, Makinodan M, Komori T, Ishida R, Kishimoto N, Takahashi M, Yasuda Y, Hashimoto R, Iwasaka H, Tanaka A, Uchida Y, Kanba S, Kishimoto T: The Self-Constructural Scale: a potential tool for predicting subjective well-being of individuals with autism spectrum disorder. *Autism Res* 13(6):947-958, 2020.
 - 9) Sekiguchi M, Sobue A, Kushima I, Wang C, Arioka Y, Kato H, Kodama A, Kubo H, Ito N, Sawahata M, Hada K, Ikeda R, Shinno M, Mizukoshi C, Tsujimura K, Yoshimi A, Ishizuka K, Takasaki Y, Kimura H, Xing J, Yu Y, Yamamoto M, Okada T, Shishido E, Inada T, Nakatochi M, Takano T, Kuroda K, Amano M, Aleksic B, Yamamoto T, Sakuma T, Aida T, Tanaka K, Hashimoto R, Arai M, Ikeda M, Iwata N, Shimamura T, Nagai T, Nabeshima T, Kaibuchi K, Yamada K, Mori D, Ozaki N: ARHGAP10, which encodes Rho GTPase-activating protein 10, is a novel gene for schizophrenia risk. *Transl Psychiatry* 10(1):247, 2020.
 - 10) Miyanishi H, Uno K, Iwata M, Kikuchi Y, Yamamori H, Yasuda Y, Ohi K, Hashimoto R, Hattori K, Yoshida S, Goto Y, Sumiyoshi T, Nitta A: Investigating DNA methylation of SHATI/NAT8L promoter sites in blood of unmedicated patients with major depressive disorder. *Biol Pharm Bull* 43(7):1067-1072, 2020.
 - 11) Okazaki K, Ota T, Makinodan M, Kishimoto N, Yamamuro, Ishida R, Takahashi M, Yasuda Y, Hashimoto R, Iida J, Kishimoto T: Associations of childhood experiences with event-

- related potentials in adults with autism spectrum disorder. *Sci Rep* 10(1):13447, 2020.
- 12) Ichihashi K, Hori H, Hasegawa N, Yasuda Y, Yamamoto T, Tsuboi T, Iwamoto K, Kishimoto T, Horai T, Yamada H, Sugiyama N, Nakamura T, Tsujino N, Nemoto K, Oishi S, Usami M, Katsumoto E, Yamamori H, Tomita H, Suwa T, Furihata R, Inagaki T, Fujita J, Onitsuka T, Miura K, Matsumoto J, Ohi K, Matsui Y, Takaesu Y, Hashimoto N, Iga J, Ogasawara K, Yamada H, Watanabe K, Inada K, Hashimoto R. Prescription patterns in patients with schizophrenia in Japan: First-quality indicator data from the survey of "Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in psychiatric treatment (EGUIDE)" project. *Neuropsychopharmacol Rep* 40(3):281-286, 2020.
 - 13) Wong TY, Radua J, Pomarol-Clotet E, Salvador R, Albajes-Eizagirre A, Solanes A, Canales-Rodriguez EJ, Guerrero-Pedraza A, Sarro S, Kircher T, Nenadic I, Krug A, Grotegerd D, Dannlowski U, Borgwardt S, Riecher-Rössler A, Schmidt A, Andreou C, Huber CG, Turner J, Calhoun V, Jiang W, Clark S, Walton E, Spalletta G, Banaj N, Piras F, Ciullo V, Vecchio D, Lebedeva I, Tomyshev AS, Kaleda V, Klushnik T, Filho GB, Zanetti MV, Serpa MH, Penteado Rosa PG, Hashimoto R, (66 名中 38 番目) Fukunaga M, Richter A, Krämer B, Gruber O, Voineskos AN, Dickie EW, Tomecek D, Skoch A, Spaniel F, Hoschl C, Bertolino A, Bonvino A, Di Giorgio A, Holleran L, Ciufolini S, Marques TR, Dazzan P, Murray R, Lamsma J, Cahn W, van Haren N, Díaz-Zuluaga AM, Pineda-Zapata JA, Vargas C, López-Jaramillo C, van Erp TGM, Gur RC, Nickl-Jockschat T: An overlapping pattern of cerebral cortical thinning is associated with both positive symptoms and aggression in schizophrenia via the ENIGMA consortium. *Psychol Med* 50(12):2034-2045, 2020.
 - 14) Matsuoka K, Makinodan M, Kitamura S, Takahashi M, Yoshikawa H, Yasuno F, Ishida R, Kishimoto N, Yasuda Y, Hashimoto R, Taoka T, Miyasaka T, Kichikawa K, Kishimoto T: Increased Dendritic Orientation Dispersion in the Left Occipital Gyrus is Associated with Atypical Visual Processing in Adults with Autism Spectrum Disorder. *Cereb Cortex* 30(11):5617-5625, 2020.
 - 15) Koshiyama D, Fukunaga M, Okada N, Morita K, Nemoto K, Yamashita F, Yamamori H, Yasuda Y, Matsumoto J, Fujimoto M, Kudo N, Azechi H, Watanabe Y, Kasai K, Hashimoto R: Association between the superior longitudinal fasciculus and perceptual organization and working memory: A diffusion tensor imaging study. *Neurosci Lett* 738:135349, 2020.
 - 16) Ohi K, Nishizawa D, Muto Y, Sugiyama S, Hasegawa J, Soda M, Kitaichi K, Hashimoto R, Shioiri T, Ikeda K. Polygenic risk scores for late smoking initiation associated with the risk of schizophrenia. *NPJ Schizophr* 6(1):36, 2020.
 - 17) Ikegame T, Bundo M, Okada N, Murata Y, Koike S, Sugawara H, Saito T, Ikeda M, Owada K, Fukunaga M, Yamashita F, Koshiyama D, Natsubori T, Iwashiro N, Asai T, Yoshikawa A, Nishimura F, Kawamura Y, Ishigooka J, Kakiuchi C, Sasaki T, Abe O, Hashimoto R, Iwata N, Yamasue H, Kato T, Kasai K, Iwamoto K: Promoter Activity-Based Case-Control Association Study on SLC6A4 Highlighting Hypermethylation and Altered Amygdala Volume in Male Patients With Schizophrenia. *Schizophr Bull* 46(6):1577-1586, 2020.
 - 18) Komatsu H, Takeuchi H, Kikuchi Y, Ono C, Yu Z, Iizuka K, Takano Y, Kakuto Y, Funakoshi S, Ono T, Ito J, Kunii Y, Hino M, Nagaoka A, Iwasaki Y, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Azechi H, Kudo N, Hashimoto R, Yabe H, Yoshida M, Saito Y, Kakita A, Fuse N, Kawashima R, Taki Y, Tomita H: Ethnicity-Dependent Effects of Schizophrenia Risk Variants of the OLIG2 Gene on OLIG2 Transcription and White Matter Integrity. *Schizophr Bull* 1;46(6):1619-1628, 2020.
 - 19) Iida H, Iga J, Hasegawa N, Yasuda Y, Yamamoto T, Miura K, Matsumoto J, Murata A,

- Ogasawara K, Yamada H, Hori H, Ichihashi K, Hashimoto N, Ohi K, Yasui-Furukori N, Tsuboi T, Nakamura T, Usami M, Furihata R, Takaesu Y, Iwamoto K, Sugiyama N, Kishimoto T, Tsujino N, Yamada H, Hishimoto A, Nemoto K, Atake K, Muraoka H, Katsumoto E, Oishi S, Inagaki T, Ito F, Imamura Y, Kido M, Nagasawa T, Numata S, Ochi S, Iwata M, Yamamori H, Fujita J, Onitsuka T, Yamamura S, Makinodan M, Fujimoto M, Takayanagi Y, Takezawa K, Komatsu H, Fukumoto K, Tamai S, Yamagata H, Kubota C, Horai T, Inada K, Watanabe K, Kawasaki H, Hashimoto R: Unmet needs of patients with major depressive disorder -Findings from the 'Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in Psychiatric Treatment (EGUIDE)' project: A nationwide dissemination, education, and evaluation study. *Psychiatry Clin Neurosci* 74(12):667-669, 2020.
- 20) Stone W, Nunes A, Akiyama K, Akula N, Ardaur R, Aubry JM, Backlund L, Bauer M, Bellivier F, Cervantes P, Chen HC, Chillotti C, Cruceanu C, Dayer A, Degenhardt F, Del Zompo M, Forstner AJ, Frye M, Fullerton JM, Grigoriu-Serbanescu M, Grof P, Hashimoto R, (52 名中 22 番目) Hou L, Jiménez E, Kato T, Kelsoe J, Kittel-Schneider S, Kuo PH, Kusumi I, Lavebratt C, Manchia M, Martinsson L, Mattheisen M, McMahon FJ, Millischer V, Mitchell PB, Nöthen MM, O'Donovan C, Ozaki N, Pisanu C, Reif A, Rietschel M, Rouleau G, Rybakowski J, Schalling M, Schofield PR, Schulze TG, Severino G, Squassina A, Veeh J, Vieta E, Trappenberg T, Alda M: Prediction of lithium response using genomic data. *Sci Rep* 11(1):1155, 2021.
- 21) Ota T, Iida J, Okazaki K, Ishida R, Takahashi M, Okamura K, Yamamuro K, Kishimoto N, Kimoto S, Yasuda Y, Hashimoto R, Makinodan M, Kishimoto T: Delayed prefrontal hemodynamic response associated with suicide risk in autism spectrum disorder. *Psychiatry Res* 289:112971, 2021.
- 22) Matsumoto J, Fukunaga M, Miura K, Nemoto K, Koshiyama D, Okada N, Morita K, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Hasegawa N, Watanabe Y, Kasai K, Hashimoto R: Relationship between white matter microstructure and work hours. *Neurosci Lett* 740:135428, 2021.
- 23) Writing Committee for the Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder; Autism Spectrum Disorder; Bipolar Disorder; Major Depressive Disorder; Obsessive-Compulsive Disorder; and Schizophrenia ENIGMA Working Groups, Patel Y, Parker N, Shin J, Howard D, French L, Thomopoulos SI, Pozzi E, Abe Y, Abé C, Anticevic A, Alda M, Aleman A, Alloza C, Alonso-Lana S, Ameis SH, Anagnostou E, McIntosh AA, Arango C, Arnold PD, Asherson P, Assogna F, Auzias G, Ayesa-Arriola R, Bakker G, Banaj N, Banaschewski T, Bandeira CE, Baranov A, Bargalló N, Bau CHD, Baumeister S, Baune BT, Bellgrove MA, Benedetti F, Bertolino A, Boedhoe PSW, Boks M, Bollettini I, Del Mar Bonnín C, Borgers T, Borgwardt S, Brandeis D, Brennan BP, Bruggemann JM, Bülow R, Busatto GF, Calderoni S, Calhoun VD, Calvo R, Canales-Rodríguez EJ, Cannon DM, Carr VJ, Cascella N, Cercignani M, Chaim-Avancini TM, Christakou A, Coghill D, Conzelmann A, Crespo-Facorro B, Cubillo AI, Cullen KR, Cupertino RB, Daly E, Dannlowski U, Davey CG, Denys D, Deruelle C, Di Giorgio A, Dickie EW, Dima D, Dohm K, Ehrlich S, Ely BA, Erwin-Grabner T, Ethofer T, Fair DA, Fallgatter AJ, Faraone SV, Fatjó-Vilas M, Fedor JM, Fitzgerald KD, Ford JM, Frodl T, Fu CHY, Fullerton JM, Gabel MC, Glahn DC, Roberts G, Gogberashvili T, Goikolea JM, Gotlib IH, Goya-Maldonado R, Grabe HJ, Green MJ, Grevet EH, Groenewold NA, Grotegerd D, Gruber O, Gruner P, Guerrero-Pedraza A, Gur RE, Gur RC, Haar S, Haarman BCM, Haavik J, Hahn T, Hajek T, Harrison BJ, Harrison NA, Hartman CA, Whalley HC, Heslenfeld DJ, Hibar DP, Hilland E, Hirano Y, Ho TC, Hoekstra PJ, Hoekstra L, Hohmann S, Hong LE,

- Höschl C, Høvik MF, Howells FM, Nenadic I, Jalbrzikowski M, James AC, Janssen J, Jaspers-Fayer F, Xu J, Jonassen R, Karkashadze G, King JA, Kircher T, Kirschner M, Koch K, Kochunov P, Kohls G, Konrad K, Krämer B, Krug A, Kuntsi J, Kwon JS, Landén M, Landrø NI, Lazaro L, Lebedeva IS, Leehr EJ, Lera-Miguel S, Lesch KP, Lochner C, Louza MR, Luna B, Lundervold AJ, MacMaster FP, Maglanoc LA, Malpas CB, Portella MJ, Marsh R, Martyn FM, Mataix-Cols D, Mathalon DH, McCarthy H, McDonald C, McPhilemy G, Meinert S, Menchon JM, Minuzzi L, Mitchell PB, Moreno C, Morgado P, Muratori F, Murphy CM, Murphy D, Mwangi B, Nabulsi L, Nakagawa A, Nakamae T, Namazova L, Narayanaswamy J, Jahanshad N, Nguyen DD, Nicolau R, O'Gorman Tuura RL, O'Hearn K, Oosterlaan J, Opel N, Ophoff RA, Oranje B, García de la Foz VO, Overs BJ, Paloyelis Y, Pantelis C, Parellada M, Pauli P, Picó-Pérez M, Picon FA, Piras F, Piras F, Plessen KJ, Pomarol-Clotet E, Preda A, Puig O, Quidé Y, Radua J, Ramos-Quiroga JA, Rasser PE, Rauer L, Reddy J, Redlich R, Reif A, Reneman L, Reppe J, Retico A, Richarte V, Richter A, Rosa PGP, Rubia KK, Hashimoto R, (288 名中 210 番目) Sacchet MD, Salvador R, Santonja J, Sarink K, Sarró S, Satterthwaite TD, Sawa A, Schall U, Schofield PR, Schranter A, Seitz J, Serpa MH, Setién-Suero E, Shaw P, Shook D, Silk TJ, Sim K, Simon S, Simpson HB, Singh A, Skoch A, Skokauskas N, Soares JC, Soreni N, Soriano-Mas C, Spalletta G, Spaniel F, Lawrie SM, Stern ER, Stewart SE, Takayanagi Y, Temmingh HS, Tolin DF, Tomecek D, Tordesillas-Gutiérrez D, Tosetti M, Uhlmann A, van Amelsvoort T, van der Wee NJA, van der Werff SJA, van Haren NEM, van Wingen GA, Vance A, Vázquez-Bourgon J, Vecchio D, Venkatasubramanian G, Vieta E, Vilarroya O, Vives-Gilabert Y, Voineskos AN, Völzke H, von Polier GG, Walton E, Weickert TW, Weickert CS, Weideman AS, Wittfeld K, Wolf DH, Wu MJ, Yang TT, Yang K, Yoncheva Y, Yun JY, Cheng Y, Zanetti MV, Ziegler GC, Franke B, Hoogman M, Buitelaar JK, van Rooij D, Andreassen OA, Ching CRK, Veltman DJ, Schmaal L, Stein DJ, van den Heuvel OA, Turner JA, van Erp TGM, Pausova Z, Thompson PM, Paus T: Virtual Histology of Cortical Thickness and Shared Neurobiology in 6 Psychiatric Disorders. *JAMA Psychiatry* 78(1):47-63, 2021.
- 24) Idemoto K, Ishima T, Niitsu T, Hata T, Yoshida S, Hattori K, Horai T, Otsuka I, Yamamori H, Toda S, Kamenoy Y, Ota K, Oda Y, Kimura A, Hashimoto T, Mori N, Kikuchi M, Minabe Y, Hashimoto R, Hishimoto A, Nakagome K, Iyo M, Hashimoto K: Platelet-Derived Growth Factor BB: A Potential Diagnostic Blood Biomarker for Differentiating Bipolar Disorder from Major Depressive Disorder. *J Psychiatr Res* 134:48-56, 2021.
- 25) Okada K, Miura K, Fujimoto M, Morita K, Yoshida M, Yamamori H, Yasuda Y, Iwase M, Shinozaki T, Fujita I, Hashimoto R: Impaired inhibition of return during free-viewing behaviour in patients with schizophrenia. *Sci Rep* 11:3237, 2021.
- 26) Sumiyoshi C, Narita Z, Inagawa T, Yamada Y, Sueyoshi K, Hasegawa Y, Shirama A, Hashimoto R, Sumiyoshi T: Facilitative effects of transcranial direct current stimulation on semantic memory examined by text-mining analysis in patients with Schizophrenia. *Front Neurol, section Neurorehabilitation* 12:583027, 2021.
- 27) Kitagawa K, Matsumura K, Baba M, Kondo M, Takemoto T, Nagayasu K, Ago Y, Seiriki K, Hayata-Takano A, Kasai A, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H, Nakazawa T: Intranasal oxytocin administration ameliorates social behavioral deficits in POGZWT/Q1038R mouse model of autism spectrum disorder. *Mol Brain* 14:56, 2021.
- 28) Sønderby IE, van der Meer D, Moreau C, Kaufmann T, Walters GB, Ellegaard M, Abdellaoui A, Ames D, Amunts K, Andersson M, Armstrong NJ, Bernard M, Blackburn NB, Blangero J, Boomsma DI, Brodaty H, Brouwer RM, Bülow R, Bøen R, Cahn W, Calhoun VD, Caspers

- S, Ching CRK, Cichon S, Ciufolini S, Crespo-Facorro B, Curran JE, Dale AM, Dalvie S, Dazzan P, de Geus EJC, de Zubicaray GI, de Zwarte SMC, Desrivieres S, Doherty JL, Donohoe G, Draganski B, Ehrlich S, Eising E, Espeseth T, Fejgin K, Fisher SE, Fladby T, Frei O, Frouin V, Fukunaga M, Gareau T, Ge T, Glahn DC, Grabe HJ, Groenewold NA, Gústafsson Ó, Haavik J, Haberg AK, Hall J, Hashimoto R (145 名中 56 番目), Hehir-Kwa JY, Hibar DP, Hillegers MHJ, Hoffmann P, Holleran L, Holmes AJ, Homuth G, Hottenga JJ, Hulshoff Pol HE, Ikeda M, Jahanshad N, Jockwitz C, Johansson S, Jönsson EG, Jørgensen NR, Kikuchi M, Knowles EEM, Kumar K, Le Hellard S, Leu C, Linden DEJ, Liu J, Lundervold A, Lundervold AJ, Maillard AM, Martin NG, Martin-Brevet S, Mather KA, Mathias SR, McMahon KL, McRae AF, Medland SE, Meyer-Lindenberg A, Moberget T, Modenato C, Sánchez JM, Morris DW, Mühleisen TW, Murray RM, Nielsen J, Nordvik JE, Nyberg L, Loohuis LMO, Ophoff RA, Owen MJ, Paus T, Pausova Z, Peralta JM, Pike GB, Prieto C, Quinlan EB, Reinbold CS, Marques TR, Rucker JJH, Sachdev PS, Sando SB, Schofield PR, Schork AJ, Schumann G, Shin J, Shumskaya E, Silva AI, Sisodiya SM, Steen VM, Stein DJ, Strike LT, Suzuki IK, Tamnes CK, Teumer A, Thalamuthu A, Tordesillas-Gutiérrez D, Uhlmann A, Ulfarsson MO, van 't Ent D, van den Bree MBM, Vanderhaeghen P, Vassos E, Wen W, Wittfeld K, Wright MJ, Agartz I, Djurovic S, Westlye LT, Stefansson H, Stefansson K, Jacquemont S, Thompson PM, Andreassen OA; ENIGMA-CNV working group: 1q21.1 distal copy number variants are associated with cerebral and cognitive alterations in humans. *Transl Psychiatry* 11(1):182, 2021.
- 29) 坪本大喜, 藤本美智子, 近江 翼, 片上茂樹, 岩瀬真生, 橋本亮太, 山森英長, 安田由華, 阿古目 純, 中川幸延, 池田 学: Clozapine による薬疹を疑われ中止した後に再投与した治療抵抗性統合失調症の 1 例. *精神医神経学雑誌* 122(6):424-430, 2020.
- 30) Sugita Y, Miura K, Furukawa T: Retinal ON and OFF pathways contribute to initial optokinetic responses with different temporal characteristics. *Eur J Neurosci* 52(4): 3160-3165, 2020.
- 31) Miyamoto T, Miura K, Kizuka T, Ono S: Properties of smooth pursuit adaptation induced by theta motion. *Physiol Behav* 1:229:113245, 2021.
- 32) Miyamoto T, Miura K, Kizuka T, Ono S: Properties of smooth pursuit and visual motion reaction time to second-order motion stimuli. *PLoS One* 15(12):e0243430, 2020.
- 33) Chen CY, Matrov D, Veale R, Onoe H, Yoshida M, Miura K, Isa T: Properties of visually guided saccadic behavior and bottom-up attention in marmoset, macaque, and human. *J Neurophysiol* 125(2):437-457, 2021.
- 34) 小野誠司, 三浦健一郎, 川村 卓, 木塚朝博: 球技系選手における視覚認知機能と反応時間の特性. *バイオメカニズム* 25: 45-54, 2020.
- 35) Horikoshi S, Kunii Y, Matsumoto J, Gotoh D, Miura I, Yabe H: Does Treatment Response With Antidementia Drugs After 6 Months in Alzheimer's Disease Predict Long-term Treatment Outcome? *J Clin Psychopharmacol* 40(2):195-197, 2020.
- 36) Ichinose M, Miura I, Horikoshi S, Matsumoto J, Osakabe Y, Yabe H: Memantine for Behavioral Symptoms of Hepatic Encephalopathy Associated With Alcoholic Cirrhosis: A Case Report. *J Clin Psychopharmacol* 41(1):85-86, 2021.

(2) 総説

- 1) Hashimoto R: Do eye movement abnormalities in schizophrenia cause Praecox-Gefühl? *Psychiatry Clin Neurosci* 75(3):79-80, 2021.
- 2) 稲田 健, 橋本亮太, 中込和幸: 統合失調症薬物治療ガイドライン. *精神医学* 62(5): 522-526,

2020.

- 3) 橋本亮太, 松本純弥, 長谷川尚美, 三浦健一郎: 精神疾患のバイオマーカーを考察する. 精神医学 62(6):875-882, 2020.
- 4) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクトの概要. 日本精神神経科診療所協会誌日精診ジャーナル 第24回通算 45 回学術研究会 2018 年淡路大会特集号:S148-S153, 2020.
- 5) 橋本亮太: スポーツとこころの関係～精神科の立場から体の痛みを考える～. 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 40(2):152-154, 2020.
- 6) 古郡規雄, 内田裕之, 水野裕也, 橋本亮太: クロザピン患者モニタリングサービスの国際比較ーCOVID-19 対応を含めてー. 臨床精神薬理 23(10):1041-1049, 2020.
- 7) 長谷川尚美, 橋本亮太: 疾患別-統合失調症, II ガイドラインに基づく外来での精神科薬物療法. 調剤と情報 臨時増刊号 27(2):98-103, 2021.
- 8) 古郡規雄, 西村勝治, 久住一郎, 新津富央, 稲田 健, 上野雄文, 木下利彦, 三村 將, 中込和幸, 下田和孝, 橋本亮太: クロザピンモニタリング制度に関する学会での活動. 臨床精神薬理 24(3):295-302, 2021.
- 9) 古郡規雄, 橋本亮太: Clozapine のモニタリング制度の現在と未来. 臨床精神薬理 24(3):215-220, 2021.

(3) 著書

- 1) 橋本亮太, 中込和幸: 第 IX 章 精神疾患「統合失調症」, 日常診療に活かす診療ガイドライン UP-TO-DATE 2020-2021. メディカルレビュー社, pp587-591 (全 1088 頁), 2020.
- 2) 橋本亮太, 渡邊衛一郎: EGUIDE プロジェクト, 講座 精神疾患の臨床 1 気分症群. 中山書店, pp309-312 (全 520 頁), 2020.
- 3) EGUIDE プロジェクト: ケースでわかる! 精神科治療ガイドラインのトリセツ. 医学書院, 東京, pp1-138 (全 138 頁), 2020.

(4) 研究報告書

- 1) 橋本亮太: 大規模患者リソース及び iPS 技術を用いた統合失調症の病態予測のバイオマーカー開発. 2020 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 特設分野研究 研究実施状況報告書. 2021.
- 2) 橋本亮太: 大規模患者リソース及び iPS 技術を用いた統合失調症の病態予測のバイオマーカー開発. 2018 年度~2020 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 特設分野研究 研究成果報告書. 2021.
- 3) 橋本亮太, 三浦健一郎, 松本純弥, 長谷川尚美: 多次元脳神経画像とゲノムによる精神疾患の脳病態に基づく新たな診断体系の構築. 2020 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 研究実績報告書. 2021.
- 4) 橋本亮太: 発達障害のリスク遺伝子の同定. 2020 年度科学研究費助成事業特別推進研究「発達障害に関わる神経生物学的機構の霊長類的基盤の解明 (代表: 高田昌彦)」2020 年度研究実績報告書. 2021.
- 5) 橋本亮太: EGUIDE での調査研究. 令和 2 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業 (精神障害分野)「向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究 (代表: 三島和夫)」分担研究報告書. 2021.
- 6) 橋本亮太: クロザピンモニタリングシステムの国際比較調査. 令和 2 年度厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業 (精神障害分野)「治療抵抗性統合失調症薬の安全性の検証による望ましい普及と体制構築に向けた研究 (代表: 上野雄文)」分担研究報告書. 2021.
- 7) 橋本亮太: Negative Valence Systems とドーパミンシステムとの関連研究. 令和 2 年度国立精神・神経医療研究センター 精神・神経疾患研究開発費「精神疾患の NVS(negative valence system)に対する治療法の開発 (研究代表者: 中込和幸)」令和 2 年度実績報告書. 2021.

- 8) 橋本亮太：精神医療分野における治療の質を評価する QI とその向上をもたらす介入技法の開発と実用性の検証。2020 年度日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野）2020 年度 委託研究開発成果報告書。2021.
- 9) 橋本亮太：気分障害と統合失調症の疾患連続性に関する脳画像等の総合的解析研究。令和 2 年度日本医療研究開発機構 戦略的国際脳科学研究推進プログラム「縦断的 MRI データに基づく成人期気分障害と関連疾患の神経回路の解明（研究開発代表者：岡本泰昌）」2020 年度 委託研究開発成果報告書。2021.
- 10) 橋本亮太：レジストリの構築（評価項目の品質管理）。令和 2 年度日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野）「精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究（研究開発代表者：中込和幸）」2020 年度 委託研究開発成果報告書。2021.
- 11) 橋本亮太：うつ症状に関する精神疾患横断的な血漿を用いたバイオマーカー開発。令和 2 年度日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野）「血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用（研究開発代表者：加藤隆弘）」2020 年度 委託研究開発成果報告書。2021.
- 12) 橋本亮太：精神疾患に伴う障害の評価尺度開発－心身機能、主観的体験の評価尺度検討および AMED 精神疾患レジストリ研究との調整。令和 2 年度日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業（精神障害分野）「精神疾患を持つ人が社会生活目標達成を図るための、WHO の ICF モデルに準拠し当事者と評価者の共同を重視した強みと弱点の評価尺度開発研究（研究開発代表者：丹羽真一）」2020 年度 委託研究開発成果報告書。2021.
- 13) 三浦健一郎：眼球運動の状況予測性解析法の研究開発と疾患横断的理解。令和 2 年度日本医療研究開発機構 革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト「双方向トランスレーショナルアプローチによる精神疾患の脳予測性障害機序に関する研究開発（研究開発代表者：小池進介）」2020 年度 委託研究開発成果報告書。2021.
- 14) 三浦健一郎、松本純弥、長谷川尚美：精神疾患の視覚認知行動異常のシステム神経科学的研究。2020 年度科学研究費助成事業 基盤研究（C）研究実施状況報告書。2021.
- 15) 松本純弥：心因性疼痛の治療と認知機能障害の関連。2020 年度科学研究費助成事業 若手研究研究実施状況報告書。2021.
- 16) 安田由華：実践マニュアルの資材作成と利活用に関する研究。令和 2 年度厚生科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業（精神障害分野）「向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究（代表：三島和夫）」分担研究報告書。2021.

(5) 翻訳

(6) その他

- 1) 橋本亮太：診療ガイドラインの普及と医療の質向上の評価（提言）、公益財団法人 日本医療機能評価機構 EBM 普及推進事業（Minds）活用促進部会 有効性評価検討会。2020.11.20.
https://minds.jcqhc.or.jp/s/developer_recommendation
https://minds.jcqhc.or.jp/s/guidance_proposal5
- 2) 橋本亮太：クロザピンの検査間隔の延長および血球減少による中止後の再投与に関する要望、日本精神神経学会、日本神経精神薬理学会、日本臨床精神神経薬理学会、日本統合失調症学会の関連 4 学会合同、厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長宛て 2021.3.20.

B. 学会・研究会における発表

(1) 学会特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1) 橋本亮太：精神疾患の病態解明研究のトレンドウォッチ：ビッグデータと仮説検証研究。教育

- 講演，第 43 回日本神経科学大会，オンライン，2020.7.29-8.1.
- 2) 橋本亮太：統合失調症薬物治療ガイドラインの作成・普及・教育・検証活動：日本神経精神薬理学会から世界を変える！NP50 周年記念シンポジウム，第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会（NPBPPP 合同年会），オンライン，2020.8.21-23.
 - 3) 橋本亮太，松本純弥，長谷川尚美，三浦健一郎：治療の指針となる診断法の開発研究の真のゴールとその道のり．シンポジウム「精神疾患の画像所見は，臨床診断に使えるようになるのか？」第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会（NPBPPP 合同年会），オンライン，2020.8.21-23.
 - 4) 橋本亮太：臨床研究者の立場から．シンポジウム「当事者・家族の望む精神医学研究とは：Patient and Public Involvement」第 116 回日本精神神経学会学術総会，オンライン，2020.9.28.
 - 5) 橋本亮太：統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版の概要．シンポジウム「統合失調症薬物治療ガイドラインの普及：SDM を用いた利活用への期待」第 116 回日本精神神経学会学術総会，オンライン，2020.9.28.
 - 6) 降旗隆二，大槻 怜，長谷川尚美，三浦健一郎，松本純弥，坪井貴嗣，沼田周助，渡邊衡一郎，稻田 健，橋本亮太：統合失調症およびうつ病治療における睡眠薬処方の実態と多剤併用の関連要因について．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 7) 堀 輝，古郡規雄，伊賀淳一，越智紳一郎，鬼塚俊明，姜 善貴，高江洲義和，降旗隆二，村田篤信，長谷川尚美，三浦健一郎，松本純弥，渡邊衡一郎，稻田 健，橋本亮太：EGUIDE プロジェクト介入前の抗コリン薬処方調査．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 8) 古郡規雄，橋本直樹，長谷川尚美，沼田周助，飯田仁志，市橋香代，稻田 健，降旗隆二，堀輝，橋本亮太：うつ病患者の退院時処方についての検討．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 9) 橋本直樹，古郡規雄，沼田周助，飯田仁志，市橋香代，稻田 健，降旗隆二，堀 輝，長谷川尚美，橋本亮太：2177 名の統合失調症患者の退院時処方についての検討．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 10) 長谷川尚美，三浦健一郎，松本純弥，安田由華，稻田 健，渡邊衡一郎，橋本亮太：統合失調症の薬物治療とうつ病の治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 11) 飯田仁志，EGUIDE プロジェクトメンバーズ：うつ病治療の施設による違い—精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究（EGUIDE プロジェクト）から得られた知見—．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 12) 市橋香代，EGUIDE プロジェクトメンバーズ：日本における統合失調症入院患者の治療状況—EGUIDE プロジェクト初年度介入前の調査より—．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 13) 山田 恒，EGUIDE プロジェクトメンバーズ：治療ガイドラインに沿った臨床行動の実践度の変化．EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 14) 小笠原一能，長谷川尚美，三浦健一郎，松本純弥，尾崎紀夫，稻田 健，渡邊衡一郎，橋本亮太：診療ガイドライン講習会を受講者はどのように評価し，どのような効果を得たのか？EGUIDE プロジェクトシンポジウム，第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
 - 15) 沼田周助，中瀧理仁，長谷川尚美，枝川令音，江戸宏彰，三浦健一郎，松本純弥，稻田 健，

渡邊衡一郎, 橋本亮太: ガイドラインの理解度向上の取り組み. EGUIDE プロジェクトシンポジウム, 第 30 回日本臨床精神神経薬理学会, オンライン, 2021.1.10.

- 16) 高江洲和, EGUIDE プロジェクトメンバーズ: EGUIDE プロジェクトによる精神科医の臨床知識の改善度の検討. EGUIDE プロジェクトシンポジウム, 第 30 回日本臨床精神神経薬理学会, オンライン, 2021.1.10.
- 17) 橋本亮太, EGUIDE プロジェクトメンバーズ: EGUIDE プロジェクトの概要. EGUIDE プロジェクトシンポジウム, 第 30 回日本臨床精神神経薬理学会, オンライン, 2021.1.10.
- 18) 橋本亮太, 青木吉嗣: 精神・神経・筋難病の克服を目指した研究開発. 第 5 回国立研究開発法人イノベーション戦略会議, 内閣府ウェブサイト, 2021.2.4.

(2) 一般演題

- 1) Sumiyoshi C, Narita Z, Inagawa T, Yamada Y, Sueyoshi K, Hasegawa Y, Shirama A, Hashimoto R, Sumiyoshi T: Facilitative Effects of Transcranial Direct Current Stimulation on Semantic Memory Examined by Text-mining Analysis in Patients with Schizophrenia. 2020 SIRS (Congress of the Schizophrenia International Research Society), Online, 2020.4.4-8.
- 2) Ohi K, Nishizawa D, Shimada T, Kataoka Y, Hasegawa J, Shioiri T, Kawasaki Y, Hashimoto R, Ikeda K: Polygenetic Risk Scores for Major Psychiatric Disorders among Schizophrenia Patients, Their First-Degree Relatives and Healthy Subjects. Free Communication Sessions, CINP(The International College of Neuropsychopharmacology (CINP)) 2021 Virtual Congress, Online, 2021.2.26-28.
- 3) Furihata R, Ohtsuki R, Hasegawa N, Miura K, Matsumoto J, Tsuboi T, Numata S, Watanabe K, Inada K, Hashimoto R: Hypnotic medication use and associated factors among patients with schizophrenia- Findings from the 'Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in Psychiatric Treatment (EGUIDE)' project. 20th WPA(World Psychiatric Association) World Congress of Psychiatry, Virtual Congress, Online, 2020.3.10-13.
- 4) 村田篤信, 長谷川尚美, 山本智也, 三浦拓人, 三浦健一郎, 松本純弥, 古郡規雄, 沼田周助, 鬼塚俊明, 竹島正浩, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: 精神科領域における薬剤師の関わり
の有有用性評価を目的とした多施設共同研究. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 5) 井手本啓太, 石間 環, 新津富央, 畑 達記, 小田靖典, 木村敦史, 亀野陽亮, 蓬萊 政, 山森英長, 戸田重誠, 菱本明豊, 橋本亮太, 中込和幸, 伊豫雅臣, 橋本謙二: 気分障害のバイオマーカーとしての血清中血小板由来増殖因子 (PDGF-BB) に関する多施設共同研究. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 6) 小宮偉吹, 長谷川尚美, 久保田智香, 三浦拓人, 佐藤英樹, 三浦健一郎, 松本純弥, 坂元竜馬, 村田篤信, 柏木宏子, 坪井貴嗣, 安田由華, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: NCNP 病院のうつ病治療における EGUIDE 講習の効果～ベンゾジアゼピン受容体作動薬に着目して～. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 7) 堀 輝, 古郡規雄, 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太: 我が国の統合失調症治療における抗コリン薬処方調査: EGUIDE 研究から. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.

- 8) 市橋香代, 堀 輝, 長谷川尚美, 安田由華, 山本智也, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太: 日本における統合失調症入院患者の処方調査－EGUIDE プロジェクト初年度介入前の調査より－. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 9) 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 安田由華, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太: 統合失調症の薬物治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 10) 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 安田由華, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: うつ病の治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 11) 沼田周助, 中瀧理仁, 長谷川尚美, 枝川令音, 江戸宏彰, 三浦健一郎, 松本純弥, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: 統合失調症とうつ病に対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト)におけるガイドライン理解度向上の取り組みとその結果. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 12) 飯田仁志, 伊賀淳一, 長谷川尚美, 安田由華, 山本智也, 三浦健一郎, 松本純弥, 村田篤信, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 川寄弘詔, 橋本亮太: うつ病のアンメットニーズー精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) から得られた知見一. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 13) 山田 恒, 本山美久仁, 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太: 統合失調症とうつ病治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果: ガイドライン講習受講前後の治療行動の変化からの考察. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 14) 松本純弥, 三浦健一郎, 福永雅喜, 越山太輔, 根本清貴, 大井一高, 岡田直大, 長谷川尚美, 山森英長, 安田由華, 藤本美智子, 鬼塚俊明, 高橋 努, 尾崎紀夫, 渡邊嘉之, 橋本亮太: 統合失調症患者と健常被験者における拡散テンソル画像を用いた大脳白質微細構造と認知機能, 認知機能障害, 労働時間との関連. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 15) 柏木宏子, 三浦健一郎, 松本純弥, 坂元竜馬, 竹田康二, 山田悠至, 藤本美智子, 安田由華, 山森英長, 池田 学, 平林直次, 橋本亮太: 暴力の既往のある統合失調症罹患者の, 認知機能, 精神病理, 心理社会的背景の特徴. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 16) 松本純弥, 三浦健一郎, 坂元竜馬, 福永雅喜, 越山太輔, 根本清貴, 岡田直大, 森田健太郎, 大井一高, 長谷川尚美, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 笠井清登, 渡邊嘉之, 橋本亮太: 統合失調症の biotype である認知機能障害と大脳白質統合性の関連. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 17) 三浦健一郎, 松本純弥, 長谷川尚美, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 橋本亮太: 眼球運動特徴による自己組織化マップを用いた統合失調症の層別化. 第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP

- 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
- 18) 藤本美智子, 三浦健一郎, 森田健太郎, 工藤紀子, 畦地裕統, 山森英長, 安田由華, 池田 学, 橋本亮太: 統合失調症におけるバイオマーカーとしての眼球運動スコアの臨床的意義. 日本生物学的精神医学会若手研究者育成プログラム ショートトーク 第50回日本神経精神薬理学会年会・第42回日本生物学的精神医学会年会・第4回日本精神薬学会総会・学術集会 (NPBPPP 合同年会), オンライン, 2020.8.21-23.
 - 19) 大井一高, 西澤大輔, 嶋田貴充, 片岡 譲, 長谷川準子, 塩入俊樹, 川崎康弘, 橋本亮太, 池田和隆: 統合失調症患者, 非罹患近親者, 健常者間における各精神疾患のポリジェニックリスクスコア. 第116回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.28-30.
 - 20) 松本純弥, 福永雅喜, 根本清貴, 越山大輔, 三浦健一郎, 岡田直大, 森田健太郎, 山森英長, 安田由華, 藤本美智子, 工藤紀子, 笠井清登, 渡邊嘉之, 橋本亮太: 大脳白質の軸索の髄鞘化, 大脳白質の成熟と, 認知機能・社会機能の指標である労働時間との関連. 第116回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.28-30.
 - 21) 橋本亮太, 長谷川尚美, 安田由華, 山本智也, 渡邊衡一郎, 稲田 健: EGUIDE プロジェクトによる退院時処方への効果〜クロザピン治療と Quality Indicator との関係に着目して〜. 第116回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.28-30.
 - 22) 馬場優志, 勢力 薫, 近藤百香, 北川航平, 竹本智哉, 笠井淳司, 吾郷由希夫, 永安一樹, 森大輔, 尾崎紀夫, 山本 雅, 田熊一敬, 橋本亮太, 橋本 均, 中澤敬信: ヒト染色体 3q29 欠失モデルマウスを用いた精神疾患の分子病態研究. 第138回日本薬理学会近畿部会, オンライン, 2020.11.14.
 - 23) 近藤百香, 栗生俊彦, 馬場優志, 北川航平, 竹本智哉, 永安一樹, 山森英長, 安田由華, 藤本美智子, 田熊一敬, 小野富三人, 橋本亮太, 橋本 均, 中澤敬信: 3q29 領域欠失変異を有する精神疾患患者の iPS 神経細胞の機能解析. 第138回日本薬理学会近畿部会, オンライン, 2020.11.14.
 - 24) 飯田仁志, 伊賀淳一, 安田由華, 山本智也, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太, 川寄弘詔: 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) 参加施設のうつ病治療に関する診療の質の評価. 第17回日本うつ病学会総会, オンライン, 2021.1.25-31.
 - 25) 小笠原一能, 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 尾崎紀夫, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太, EGUIDE プロジェクトチーム: EGUIDE プロジェクト」受講者アンケートの解析から. 第17回日本うつ病学会総会, オンライン, 2021.1.25-31.
 - 26) 井手本啓太, 石間 環, 新津富央, 畑 達記, 小田靖典, 木村敦史, 亀野陽亮, 蓬萊 政, 山森英長, 戸田重誠, 菱本明豊, 橋本亮太, 中込和幸, 伊豫雅臣, 橋本謙二: 気分障害のバイオマーカーとしての血清中血小板由来増殖因子 (PDGF-BB) に関する多施設共同研究. 第17回日本うつ病学会総会, オンライン, 2021.1.25-31.
 - 27) 本山美久仁, 山田 恒, 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: 精神科レジデントに対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) の効果の検討ーうつ病治療ガイドラインに沿った臨床行動実践度の比較ー. 第30回日本臨床精神神経薬理学会, オンライン, 2021.1.9-10.
 - 28) 安田由華, 稲田 健, 飯田仁志, 古郡規雄, 堀 輝, 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: 統合失調症薬物治療ガイドラインを用いたエビデンス・診療ギャップの検討についてー精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) よりー. 第30回日本臨床精神神経薬理学会, オンライン, 2021.1.9-10.
 - 29) 山田 恒, 本山美久仁, 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: 精神科レジデントに対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) の効果の検討ー治療ガイドラインに沿った臨床行動実践度の比較ー. 第30回日本臨床精神神経

- 薬理学会, オンライン, 2021.1.9-10.
- 30) 村田篤信, 古郡規雄, 堀 輝, 長谷川尚美, 姜 善貴, 高江洲義和, 伊賀淳一, 越智紳一郎, 降旗隆二, 鬼塚俊明, 竹島正浩, 三浦健一郎, 松本純弥, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太: 統合失調症患者における抗コリン薬服薬中止達成に関する要因の後方視的解析, 第 30 回日本臨床精神神経薬理学会, オンライン, 2021.1.9-10.
 - 31) 長谷川尚美, 三浦健一郎, 松本純弥, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太: 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究(EGUIDE プロジェクト). D&I 科学研究会(保健医療福祉における普及と実装科学研究会) 第 5 回学術集会, オンライン, 2020.11.28.
 - 32) 三浦健一郎, 吉田正俊, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 長谷川尚美, 松本純弥, 橋本亮太, 竹村 文: フリービューイング時のマカクサル視覚探索行動: ヒトとの比較. 第 43 回日本神経科学大会, オンライン, 2020.7.29-8.1.
 - 33) 林 和子, 松本有央, 松田圭司, 三浦健一郎, 山根 茂, 松尾 真, 柳井啓司, Eldridge MAG, Richmond BJ, 永井裕司, 宮川尚久, 南本敬史, 岡田真人, 河野憲二, 菅生・宮本康子: サルの表情弁別における顔の質感変化の影響. 第 43 回日本神経科学大会, オンライン, 2020.7.29-8.1.
 - 34) Hayashi K, Matsumoto N, Matsuda K, Miura K, Yamane S, Matsuo S, yanai k, Eldridge M.A.G., Saunders R.C., Richmond B.J., Nagai Y, Miyakawa N, Minamimoto T, Okada M, Kawano K, Sugae-Miyamoto Y: Effects of different physical surface properties on face discrimination learning in macaque monkeys. 日本動物心理学会第 80 回大会, オンライン, 2020.11.20-22.
 - 35) 小野誠司, 宮本健史, 三浦健一郎, 木塚朝博: Smooth pursuit における異なる適応パターンの比較. 第 16 回空間認知と運動制御研究会学術集会, オンライン, 2021.3.13.
 - 36) 竹村 文, 三浦健一郎: 2 フレームアニメーション刺激に対する MST ニューロンの活動特性に関する考察. 第 16 回空間認知と運動制御研究会学術集会, オンライン, 2021.3.13.
 - 37) 戸田 亘, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤 浩, 紺野慎一, 矢部博興: 高齢の身体表現性障害患者における脳血流の変化. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.28-30.
 - 38) 横倉俊也, 青木俊太郎, 戸田 亘, 松本純弥, 大谷晃司, 本谷 亮, 上田由桂, 大西真央, 志賀可奈子, 川嶋彩花, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興: 気分障害が併存する慢性痛患者に対する集団行動活性化療法の試み. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.28-30, 2020.
 - 39) 國井泰人, 日野瑞城, 近藤 豪, 和田 明, 松本純弥, 丹羽真一, 瀬藤光利, 矢部博興: 新規クロザピン結合タンパク質の探索— α/β チューブリンに対する相互作用. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.28-30.
 - 40) 國井泰人, 松本純弥, 泉 竜太, 長岡敦子, 日野瑞城, 赤津裕康, 橋詰良夫, 齊ノ内 信, 柿田明美, 矢部博興: 統合失調症脳病態における脂質シグナル伝達の意義—死後脳研究. 第 116 回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.28-30.

(3) 研究報告会

- 1) 橋本亮太, 稲田 健, 沼田周助, 山田 恒, 橋本保彦, 降旗隆二, 古郡規雄: 精神医療分野における治療の質を評価する QI とその向上をもたらす介入技法の開発と実用性の検証. 日本医療研究開発機構 令和 2 年度障害者対策総合研究開発事業 精神障害分野分科会, オンライン, 2020.7.23.
- 2) 長谷川尚美, 松本純弥, 三浦健一郎, 橋本亮太, EGUIDE プロジェクトメンバーズ: EGUIDE プロジェクトによる退院時処方への効果〜クロザピンと医療の質(Quality

Indicator)の関係に着目して～. NCNP 令和元年度精神保健研究所研究報告会, オンライン, 2020.12.21.

- 3) 橋本亮太, 長谷川尚美, 松本純弥, 三浦健一郎: 脳神経画像のメガアナリシスによる病態解明研究と EGUIDE プロジェクトによるガイドラインの普及教育効果の検証. NCNP 令和元年度精神保健研究所研究報告会, オンライン, 2020.12.21.
- 4) 橋本亮太: 多施設共同研究体制の構築. 第 15 回 COCORO 会議, オンライン, 2021.1.11.
- 5) 三浦健一郎: AI 解析によるバイオタイプの同定. 第 15 回 COCORO 会議, オンライン, 2021.1.11.
- 6) 松本純弥: 大脳皮質厚・面積の疾患横断的解析. 第 15 回 COCORO 会議, オンライン, 2021.1.11.
- 7) 三浦健一郎, 松本純弥, 長谷川尚美, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 橋本亮太: 人工知能技術を活用した精神疾患の層別化—病態の理解と新たな診断体系の構築に向けて—. NCNP 令和 2 年度精神保健研究所研究報告会, オンライン, 2021.3.15.
- 8) 長谷川尚美, 松本純弥, 三浦健一郎, 橋本亮太, EGUIDE プロジェクトメンバーズ: 統合失調症とうつ病の治療に対する EGUIDE プロジェクトの効果. NCNP 令和 2 年度精神保健研究所研究報告会, オンライン, 2021.3.15.

(4) その他

- 1) Hashimoto R, Matsumoto J, Hasegawa N, Miura K: Partnering International Consortium: COCORO. The ENIGMA Consortium 2020 All-Hands Virtual Meeting, 2020.7.1-2.
- 2) 橋本亮太: 精神疾患の克服とその障害の支援. NCNP EDICS/精神科共催セミナー, オンライン, 2020.5.25.
- 3) 菅生康子, 林 和子, 松本有央, 松田圭司, 三浦健一郎, 本武陽一, 松尾 真, 澤山正貴, 南本敬史, 岡田真人, 柳井啓司, 佐藤いまり, 西田眞也, 河野憲二: 側頭葉前部における顔の質感知覚を支える神経機構の解明. 新学術領域研究「多様な質感認識の科学的解明と革新的質感技術の創出」第 9 回班会議, オンライン, 2020.9.24-26.

C. 講演

- 1) 橋本亮太: 精神疾患の多施設共同研究～病態解明から治療法の社会実装まで～. Mist seminar in GIFU. オンライン, 2020.11.25.
- 2) 橋本亮太: 統合失調症薬物治療ガイドラインを精神科臨床で生かすために. 2020 年度第 5 回日本精神薬学会 Web 講演会, オンライン, 2021.3.21.

D. 学会活動

(1) 学会主催

(2) 学会役員

- 1) 橋本亮太: 日本神経精神薬理学会 理事, 評議員, 広報委員会委員長, 統合失調症薬物治療ガイドラインタスクフォース委員, 編集委員会委員, 国際学術委員会委員, 執行委員会委員, 統合失調症薬物治療ガイドライン改訂委員, 50 周年記念事業ワーキンググループ委員, クロザピン TF 委員会委員長, トランスレーショナル・メディカルサイエンス(TMS)委員会イノベーションサイエンス部会委員, 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証委員会委員長 (通称: EGUIDE 委員会)
- 2) 橋本亮太: 日本精神神経学会 PCN 編集委員会委員, 薬事委員会委員, 精神医学研究推進委員会委員
- 3) 橋本亮太: 日本神経化学会 評議員, 利益相反委員会委員, 若手育成委員会委員

- 4) 橋本亮太：日本統合失調症学会 評議員
- 5) 橋本亮太：日本臨床精神神経薬理学会 評議員，精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証委員会委員長（通称：EGUIDE 委員会）
- 6) 橋本亮太：日本うつ病学会 評議員，気分障害の治療ガイドライン検討委員会委員，精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証委員会委員長（通称：EGUIDE 委員会）
- 7) 橋本亮太：日本生物学的精神医学会 理事，将来計画委員会委員，関連学会対応委員会副委員長，評議員
- 8) 橋本亮太：日本神経科学学会 臨床・関連学会連携委員会委員
- 9) 橋本亮太：国際神経精神薬理学会 理事，フェローシップ表彰委員会委員，教育委員会委員，評議員
- 10) 三浦健一郎：電子情報通信学会ニューロコンピューティング研究専門委員会 専門委員

(3) 座長

- 1) 橋本亮太：治療の指針となる診断法の開発研究の真のゴールとその道のり．シンポジウム「精神疾患の画像所見は，臨床診断に使えるようになるのか？」第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会（NPBPPP 合同年会），オンライン，2020.8.21-23.
- 2) 橋本亮太：2020 日本精神薬学会 EGUIDE ワークショップ：薬剤師に治療ガイドラインは役に立つのか？－妊婦希望うつ病症例のディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぼう．オンライン，2020.8.22.
- 3) 橋本亮太：2020 日本神経精神薬理学会 EGUIDE プロジェクト 統合失調症薬物治療ガイドライン講習会．オンライン，2020.8.23.
- 4) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクトワークショップ：日常診療に治療ガイドラインは役に立つのか？－症例ディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぼう．第 30 回日本臨床精神神経薬理学会，オンライン，2021.1.10.
- 5) 橋本亮太：COCORO の現状と方向性についてのディスカッション．第 15 回 COCORO 会議，オンライン，2021.1.11.

(4) 学会誌編集委員等

- 1) 橋本亮太：日本精神神経学会機関誌「Psychiatry and Clinical Neuroscience」編集委員会委員
- 2) 橋本亮太：日本神経精神薬理学会機関誌「Neuropsychopharmacology Reports」「日本神経精神薬理学雑誌」編集委員会委員

E. 研修

(1) 研修企画

- 1) 橋本亮太：2020 日本精神薬学会，EGUIDE ワークショップ：薬剤師に治療ガイドラインは役に立つのか？－妊婦希望うつ病症例のディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぼう．オンライン，2020.8.22.
- 2) 橋本亮太：2020 日本神経精神薬理学会，EGUIDE プロジェクト 統合失調症薬物治療ガイドライン講習会．オンライン，2020.8.23.
- 3) 橋本亮太：第 116 回日本精神神経学会学術総会，ワークショップ(PCN 編集委員会)：現役エディターによる論文の書き方指導の講義と論文投稿の個別相談会．オンライン，2020.9.29.
- 4) 橋本亮太：第 116 回日本精神神経学会学術総会，ワークショップ：日常診療に診療ガイドラインは役に立つのか？ オンライン，2020.9.29.
- 5) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習，統合失調症薬物治療ガイドライン講習．オンライン，2020.10.31.
- 6) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習，うつ病治療ガイドライン講習．オンライン，2020.11.1.
- 7) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習，統合失調症薬物治療ガイドライン講習

- 習. オンライン, 2020.11.3.
- 8) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト東北地区東北大学講習, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.11.14.
 - 9) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト東北地区東北大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.11.15.
 - 10) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.11.15.
 - 11) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト北陸/北海道地区金沢医科大学/北海道講習, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.11.22.
 - 12) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト北陸/北海道地区金沢医科大学/北海道大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.11.23.
 - 13) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト北陸/北海道地区金沢医科大学/北海道大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.11.23.
 - 14) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科講習, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.11.29.
 - 15) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.5.
 - 16) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト福岡大学講習, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.5.
 - 17) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.6.
 - 18) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト福岡大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.6.
 - 19) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.13.
 - 20) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト近畿地区大阪大学講習, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.19.
 - 21) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト四国地区愛媛大学講習, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.19.
 - 22) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト近畿地区大阪大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.20.
 - 23) 橋本亮太: EGUIDE プロジェクト四国地区愛媛大学講習, うつ病治療ガイドライン講習. オンライン, 2020.12.20.
 - 24) 橋本亮太: 第 30 回日本臨床精神神経薬理学会, EGUIDE プロジェクトワークショップ: 日常診療に治療ガイドラインは役に立つのか? - 症例ディスカッションを通じてガイドラインの使い方を学ぶ. オンライン, 2021.1.10.
 - 25) 橋本亮太: 第 17 回日本うつ病学会総会, EGUIDE プロジェクト うつ病治療ガイドライン講習会. オンライン, 2021.1.30.

(2) 研修会講師

- 1) 橋本亮太: 日常診療と診療ガイドラインの関係. ワークショップ: 日常診療に診療ガイドラインは役に立つのか? 第 116 回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.29.
- 2) 橋本亮太: 研究論文の書き方. ワークショップ(PCN 編集委員会): 現役エディターによる論文の書き方指導の講義と論文投稿の個別相談会, 第 116 回日本精神神経学会学術総会, オンライン, 2020.9.29.
- 3) 橋本亮太: 趣旨説明及び理解度記入. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習, オンライン, 2020.10.31.
- 4) 橋本亮太: 理解度の解説とフィードバック. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習, オンライン, 2020.10.31.
- 5) 橋本亮太: 趣旨説明及び理解度記入. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習, オンライン, 2020.11.1.
- 6) 橋本亮太: 理解度の解説とフィードバック. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習, オンライン, 2020.11.1.

- 7) 橋本亮太：趣旨説明及び理解度記入．統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習，オンライン，2020.11.3.
- 8) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック．統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習，オンライン，2020.11.3.
- 9) 橋本亮太：趣旨説明及び理解度記入．うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習，オンライン，2020.11.15.
- 10) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック．うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習，オンライン，2020.11.15.
- 11) 橋本亮太：趣旨説明及び理解度記入．統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習，オンライン，2020.11.29.
- 12) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック．統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習，オンライン，2020.11.29.
- 13) 橋本亮太：趣旨説明及び理解度記入．統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習，オンライン，2020.12.5.
- 14) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック．統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習．オンライン，2020.12.5.
- 15) 橋本亮太：趣旨説明及び理解度記入．うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習，オンライン，2020.12.6.
- 16) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック．うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習，オンライン，2020.12.6.
- 17) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック．うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習，オンライン，2020.12.13.
- 18) 橋本亮太：趣旨説明及び理解度記入．うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習，オンライン，2020.12.13.

F. その他

- 1) 松本純弥：奨励賞受賞，日本生物学的精神医学会第 9 回若手研究者育成プログラム，演題「統合失調症患者と健常被験者における拡散テンソル画像を用いた大脳白質微細構造と認知機能，認知機能障害，労働時間との関連」，第 42 回日本生物学的精神医学会年会（第 50 回日本神経精神薬理学会年会・第 42 回日本生物学的精神医学会年会・第 4 回日本精神薬学会総会・学術集会（NPBPPP 合同年会）），オンライン，2020.8.21-23.
- 2) 松本純弥：優秀発表賞受賞，第 116 回日本精神神経学会学術総会，演題「大脳白質の軸索の髄鞘化，大脳白質の成熟と，認知機能・社会機能の指標である労働時間との関連」，第 116 回日本精神神経学会学術総会，オンライン，2020.9.28-30.
- 3) 橋本亮太，長谷川尚美，松本純弥，三浦健一郎：講義，精神疾患の脳科学：トランスレーショナルアプローチ．東京農業大学農学研究科大学院講義，オンライン，2020.10.28.
- 4) 橋本亮太：総合司会，統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習，オンライン，2020.10.31.
- 5) 橋本亮太：総合司会，うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト中部地区岐阜大学講習，オンライン，2020.11.1.
- 6) 橋本亮太：総合司会，統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習，オンライン，2020.11.3.
- 7) 橋本亮太：総合司会，うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区 NCNP 講習，オンライン，2020.11.15.
- 8) 橋本亮太：総合司会，統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習，オンライン，2020.11.29.
- 9) 橋本亮太：総合司会，統合失調症薬物治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市立大学講習，オンライン，2020.12.5.
- 10) 橋本亮太：総合司会，うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区横浜市

立大学講習，オンライン，2020.12.6.

- 11) 橋本亮太：総合司会，うつ病治療ガイドライン講習，EGUIDE プロジェクト関東地区東京慈恵会医科大学講習，オンライン，2020.12.13.
- 12) 橋本亮太：研究会主宰，第15回COCORO会議，オンライン，2021.1.11.
- 13) 安田由華：受賞，日本精神神経学会 第13回(2020年度)フォリア賞（日本精神神経学会 2020年度最優秀論文賞），2021.1. 受賞論文：Yasuda Y, Okada N, Nemoto K, Fukunaga M, Yamamori H, Ohi K, Koshiyama D, Kudo N, Shiino T, Morita S, Morita K, Azechi H, Fujimoto M, Miura K, Watanabe Y, Kasai K, Hashimoto R: Brain morphological and functional features in cognitive subgroups of Schizophrenia. Psychiatry Clin Neurosci 74(3):191-203, 2020.